

指導と評価の年間計画(国語)〈例〉

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

科目	言語文化	学年・年次	〇年	指導クラス	〇・△組	指導者名	
単位数	2	使用教科書			副教材・問題集等		

1. 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

3. 指導及び評価計画

月	指導の領域 指導時間			単元名	指導項目 (単元目標)	主な言語活動	評価の 場面・方法	評価の観点			教材名
	書	読 [古]	読 [近]					a	b	c	
4				***	***	***	***				***
				***	***	***	***				***
5				***	***	***	***				***
				***	***	***	***				***
6				***	***	***	***				***
			1	前期中間考査				○	○		
				***	***	***	***				***
7											
8											
9											
10											
指導 時数	書	読 [古]	読 [近]	【言語文化】 2単位で実施する場合 書くこと 5～10単位時間程度を配当 読むこと[古典] 40～45単位時間程度を配当 読むこと[近代以降の文章] 20単位時間程度を配当 (※実施単位数に応じて領域ごとの指導時数を増やすこと)							
	7	43	20								
	70										